

平成 25 年度レベルアップ研修会「幼児運動プログラム」(報告)

平成 26 年 3 月 12 日

指導者養成課

1. 目的 幼児期の運動習慣を身につけ、発育発達を促すことから「幼児運動プログラム」の研修会を開催し、指導員の資質向上を図り、指導者間の連携強化を目的とする。
2. 期 日 平成 26 年 2 月 20 日 (木) 9:00～ アクア実技 14:00～合同講義
21 日 (金) 12:00
3. 場 所 日本財団ビル 2 階会議室
4. 対 象 海洋性レクリエーション指導員及びセンター指導員
5. 参加者数 27 センター 31 名
名簿 別添
6. 内 容 講 義 運動遊びが子どもの心を育てる 柳澤講師
体操のプロが考えるこどものからだと運動のこと 遠藤講師
実 技 アクア実技プログラムの紹介 今野講師
フロア実技プログラムの紹介 藤井講師
事例発表 アクア 群馬県玉村町 B & G 海洋センター 下田さん
フロア 千葉県いすみ市岬 B & G 海洋センター 吉野さん
滋賀県米原市伊吹 B & G 海洋センター 鳴海さん
7. アンケート集計 別添
8. その他 配布資料 別添

アンケート集計

1. 26年度の本研修会の開催時期について

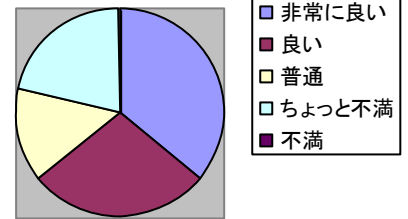
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2名	4名	6名	なし	なし	なし	3名	7名	5名	2名	12名	4名

※今回実施した2月が開催時期としては参加しやすいようです。

2. 今回の研修内容について

①実技 アクア実技プログラム

非常に良い	良い	普通	ちょっと不満	不満
5名	4名	2名	3名	なし



感想：指導者のあるべき姿、楽しく、明るく、元気よくを常に意識して指導にあたりたいと思います。

3つのBe (Be happy、Be bright、Be yourself) を実践していきたい。

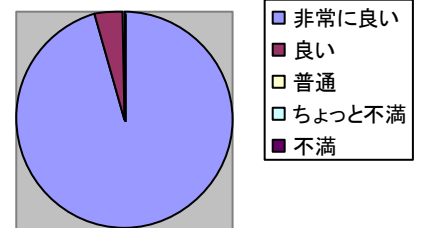
実技の時間を長くしてほしい。

実技メニューをもっと見たかった。

子供へ実践している時間を見てみたいです。

②実技 フロア実技プログラム

非常に良い	良い	普通	ちょっと不満	不満
23名	1名	なし	なし	なし



感想：指導法など細かい所まで教えていただいたので指導に直につながりやすい。

すごく楽しくできたことと、器具を使った際の指導ポイントが分かりやすかった。

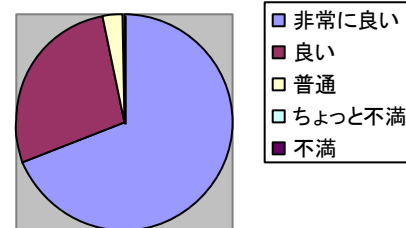
とても分かりやすく、細かい所まで教えていただいたので、これからの教室と教室展開に役立ち指導のレベルアップにつながりました。

参考にできるものがたくさんあって教室につながってほしいと思いました。

それぞれの運動においてどのように補助すればよいか分かりました。

③講義 運動遊びが子どもの心を育てる

非常に良い	良い	普通	ちょっと不満	不満
20名	8名	1名	なし	なし



感想：今回も更に内容を理解することが出来ました。またVTR等も使用していただきとても運動のイメージがしっかりと分かりました。

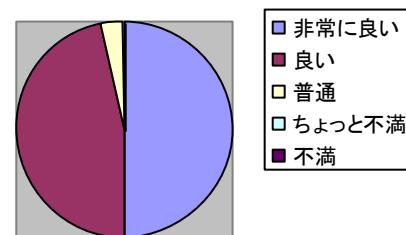
基本の体力づくりから教えて頂き、あともう少し…の子どもたちの力になれそうです。また、筋力の弱い子どもたちの体力づくりもわかりすぐしてみたいと思いました。

時間が短かったので、もう少し話を聞きたかった。実際に子どもに指導する様子も見てみたかった。

いきなり完成型を求めるのではなく体の1つ1つの動きに分解して動きを作っていくという内容にとっても興味をもった。時間の関係で飛ばした部分も多かったのもっと長い時間取ってほしかった。

④講義 体操のプロが考えるこどものからだと運動のこと

非常に良い	良い	普通	ちょっと不満	不満
14名	13名	1名	なし	なし



感想：子ども（幼児）に対する初期指導のコツ、注意点を中心にお話し頂き参考となった。

現場で実際に感じていらっしゃる事や体験をもとにお話しいただいたのでためになりました。今までの教え方、伝え方が違うこともわかりよかったです。

どの年齢までに「こんなこと」「あんな動き」ができるんだということが勉強になりました。少しのコツでできるのだと思いました。なかなかVIPさんの様なプロの指導はできませんが、プロのコツを聞けるよい機会となりました。

所感

1日目の午前中に行われた、幼児アクア実技は事例発表として、玉村町海洋センターで行なっている音楽体操を下田さんに発表頂き、参加者にとってこれからのプログラム導入へ参考になったとのことでした。その後、アクア実技プログラムとして今野先生に指導者に必要なことや水慣れの代表的なプログラムを実技指導いただき、今後の水泳指導にとっても参考になったとの意見を多くいただいております。

午後からの幼児フロア・アクア共通講義では、幼児期の運動遊びでは脳と運動を組み合わせる行うことでの有効性や各年代にどのような運動をするべきか？などこれまでの指導経験を基にされた講義をいただき、参加者からもっと時間をかけて学びたいとの意見がありました。

2日目に行われたフロア事例発表では、いすみ市岬海洋センター吉野さん、米原市伊吹海洋センター鳴海さんに教室で行っているプログラムを発表していただき、参加者も楽しみながら熱心に取り組んでいました。フロア実技プログラムは、柔軟体操・マット運動・跳び箱・鉄棒など参加者が自分自身で行い、補助などすることで、注意点などの確認ができ今後の指導に役立てたいとのことでした。

今回の研修会は、私が初めて企画から運営までをさせていただきました。研修内容の検討・研修案の作成・講師への依頼・参加者への案内など行う業務は数多くあり、期日が迫るにつれて進まない業務に焦る毎日でした。ですが財団職員や参加センターの皆様にご協力をいただき、どうにか無事に研修会を終えることができ、ほっとしています。今回の経験で、参加者の求める研修会を計画・実施することの大変さを痛感しました。しかし、自分で企画し、運営することの達成感も感じました。この経験を活かし地元のニーズに合う、少人数からの幼児プログラムに取り組んでいきたいと思っております。



アクア事例発表（玉村町）



今野先生の実技指導



サークル・タッグ



シティー・ブリッジ



坂倉部長あいさつ



柳澤先生の講義



画像を見ながらの講義



遠藤先生の講義



模型を使っでの説明



事例集についての説明



幼児親子水辺の安全教室説明



フロア事例発表 (いすみ市岬)



フロア事例発表 (米原市伊吹)



藤井先生の実技指導



補助方法の練習



リトミック